

<リスク管理方針>

◎リスク管理方針	<p>組合員・利用者みなさまに安心してJAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要と考えております。</p> <p>このため、有効な内部管理体制を構築し、直面するさまざまなリスクに適切に対応すべく「リスク管理方針」を策定し、認識すべきリスクの種類や管理体制の仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。</p> <p>この方針に基づき、収益とリスクの適切な管理、適切な資産自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。</p>
◎審査体制	<p>JAでは、「資産の健全性」を維持・強化するために、貸出営業部署(融資部門)と貸出審査部署(資産管理部門)を分離することにより、内部けん制機能を働かせ、常に厳格な審査体制を維持しつつ、本店からの指導・管理に努めております。</p>
◎監査体制	<p>内部監査部門については事業推進部門から独立して設置し、経営全般にわたる管理及び各部門の業務の遂行状況を、内部管理態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価し、改善事項の勧告などを通じて、業務の運営の適切性の維持・改善に努めています。</p> <p>内部監査はJAの本店・支店の全てを対象とし、年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知され、定期的に被監査部門の改善取組状況をフォローアップするとともに、監査結果の概要は定期的に理事会に報告しています。</p>
◎ALM管理体制	<p>資金の調達・運用の最適化を目指し資産・負債を総合的に管理することを目的としたALM委員会を開催し、金利・経済環境を予測し、金利変動リスク等の回避のためにALM手法を充実させ、計画・実績の差異分析や資金分析シュミレーション等の検討を行い、財務の健全性及び適正な運営に努めております。</p>